

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1191800232		
法人名	医療法人社団 愛優会		
事業所名	グループホーム草加原町		
所在地	草加市原町3丁目15-30		
自己評価作成日	平成30年3月23日	評価結果市町村受理日	平成30年6月5日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/11/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社シーサポート		
所在地	埼玉県さいたま市浦和区領家2-13-9		
訪問調査日	平成30年3月31日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の日光浴及びトレッドミルの実施において免疫力を高め筋力低下防止に努めている ・近隣住民との共同菜園作りにおいて季節ごとの収穫を楽しまれている
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>●トレッドミルの使用等日々の運動・水分摂取に注力しており、認知症の進行防止・健康維持に取り組んでいます。活動的な日々のスケジュールは、利用者の食欲増進に繋がっており、健康的な生活ができるよう支援にあたっています。 ●医療法人である特長を活かし、職員の生活習慣病予防に対してもサポートにあたっています。職員の健康保持・福利厚生の上をサービス提供の質の向上に繋げるべく様々な取り組みがなされています。 ●家族の面会や趣味など入居前からの生活や習慣が継続できるよう支援に努めています。知人との交流のための外出についてもケアへの考慮をもって実現しています。</p>

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人理念に基づき、個々の職員がご入居者様の「笑顔」「尊厳」を大切にすることを常に意識し、日頃の支援に繋げるよう努めている	多様な勤務形態・勤務時間帯で働く職員を同じ方向にまとめ、利用者本位の支援となるよう努めている。信用ある職員を採用し、丁寧な支援が実践されるよう指導にあたっている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町会への加入及び近隣住民との共同菜園を作りふれあいを大切にしている クリスマス会では市内中学生による演奏会を開催	ホーム内の菜園は地域の方々の協力のもと野菜の栽培がなされている。中学校の生徒が訪問し、演奏会を開催してもらうなど温かな交流がなされている。	ウォーキングなど外出支援時にボランティアの協力を得られるよう社会福祉協議会等に働きかける意向をもってしている。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	H28年度は認知症カフェを開催していたが、今年度は未実施となっている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年度は3回実施	地域包括支援センター、自治会の方々を招待し、運営推進会議を開催している。運営状況の報告、感染症対応等の話し合いがなされている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括支援センターの方の運営推進会議参加や社協後見人の方の月1回の訪問時に施設運営状況などの報告を行っている	地域包括支援センター、社会福祉協議会等地域機関との連携を図り、「地域から支えられ、地域を支える関係」を構築している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠はしていないが、フロア入口のみ安全上の問題から施錠をしている。 ベッド上の拘束等は行わないように常に指導を行っている	利用者に押し込めている感覚を持たせないよう玄関の施錠をしないなど自由な活動を保障している。安全とのバランスを図り、適切な支援がなされるよう指導にあたっている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員ミーティング内で「言葉の暴力」についての話し合いを行った		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	施設内ご利用者様2名の方に後見人の方がいるため日々交流している		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時及び施設内運営内容が変更になる際は訪問時や案内を送付し説明を行っている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議への参加を呼びかけ感想などをのべて頂いている	重要事項説明書には苦情相談窓口について記載し、周知している。また、面会や手紙等により家族とのコミュニケーションを図り、意見や要望を聴取するよう努めている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員全体ミーティングを開催し、運営状況報告と意見交換を実施	ミーティングや業務改善アンケートにより事故防止等の話し合いと指導がなされている。職員の生活習慣病予防に対してもサポートにあたっており、福利厚生の上向上に努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	「働き方改革」にもとづき入浴日の曜日固定や2ユニット合わせての食事当番一人体制を実施		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修などへはほとんど参加できていない		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	年1回ですが草加市「RUN伴」参加事業者との交流を行っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご入居者様からの要望や意見については、ご家族様共意見を共有し早期解決に努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面会訪問時には、毎回現場職員から積極的にご家族様へ声掛けを行っており、要望等がすぐに聞けるよう心掛けている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	施設ケアマネからの定期的な聞き取りを実施しサービスに活かしている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	主に家事等を職員とご利用者様が作業を分担し日々行っている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	施設内での行事等にご家族様も参加をして頂いている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	職員がパイプ役となり、馴染の方との関係が継続できるように支援している	入居後も利用者の信条・宗教等について継続できるよう支援に努めている。また知人との交流のための外出についても各種支援への考慮により実現している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員がご入居者様方の間に入ったり、洗濯物たたみや食器拭き等の作業を共同で取り組んで頂くことでご入居者様同士の関わりを持って頂いている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後もご家族様の要望があれば、柔軟に対応している		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ケアプラン更新時は必ずご入居者様の思いや意向を伺うように努めているが、普段の会話を傾聴することでご本人の希望や意向を汲み取るよう努めている	利用者・家族の意向については随時確認し、ケアに反映するよう努めている。安全・安心とのバランスがとれるよう利用者本位に検討し、活動を心から楽しめるよう支援に取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	各居室には馴染の家具などを持ち込んで頂き、落ち着いて生活して頂けるよう環境整備に努めている。また、ご入居者様の情報はファイリングして全職員が把握できるように努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員の定時の申し送りはもちろんのこと、それ以外でも職員間の情報交換を積極的に行うことで、ご入居者様の現状把握に努めている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族様の要望は面会時や電話にて聴取している。職員からはアンケートやカンファレンスによって情報やアイデアを出しあい、介護計画に反映させている	職員からの事前アンケートと家族の希望聴取によりケアプランが策定されている。更新時等には職員に声を掛け、プランを確認し、反映した支援となるよう取り組んでいる。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録記入の重要性を各職員が自覚し、情報共有に努めている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	定期的に親戚との食事会へ参加している ご利用者の歩行が困難時はホームの休憩室をお貸しして食事会の場を提供している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	散歩を兼ねて近隣店舗に買い物に行ったり、施設の物品の買い出しに同行して頂いたりしている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科訪問診療：西葛西三丁目診療所月2回 歯科訪問診療：長栄歯科定期訪問あり	法人のクリニックによる往診により利用者の健康管理がなされている。また緊急時対応については医師の指示に基づき、適切な対応に取り組んでいる。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	非常勤看護師が週に3日ほど勤務しており、情報提供に努めている。また、月2回の内科訪問診療には看護師が同席するようにしている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	訪問診療医や看護師には常に問い合わせや相談に応じて頂いている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	食事摂取困難時のご利用者様にはホーム内にて点滴を行い看護師不在時は家族様同行にて近隣病院への点滴をお願いするなど連携しながら援助を行っている	「医師の判断を仰ぎながら・医療機関との連携を図りながら」状況に沿ったケアに取り組んでいる。利用者・家族の意向に基づき、点滴・栄養剤摂取等重度化への対応を図っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ご入居者様の急変時や事故発生時の対応については、マニュアルを作成するなどして対応を統一できるよう努めている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練の実施、地域の防災訓練への参加、消防による防災点検などを実施している	例年は地域の防災訓練にも参加するなど地域との協調を図るよう取り組んでいる。トイレの確保などを考慮した避難について更に検討を重ねる意向をもっている。	来年度は定期での避難訓練実施を予定しており、実現が期待される。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご入居者様への声掛けや対応は常に人格尊重を意識して行うように努めている。また、各居室の施錠についてはご要望があった場合に施錠を実施している。ただし、夜間巡視時は外鍵で開錠させて頂いている	利用者にとって優しい接遇となるよう・指示とならないよう職員への指導にあたっている。外国籍の職員もコミュニケーション能力を有しており、尊厳を保持した対応に取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	各ご入居者様に応じた方法でコミュニケーションをとり、ご本人様の思いや希望を引き出すよう努めている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご入居者様の身体状況やその日の気分に合わせて様々な運動を楽しく行って頂けるように努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入浴時の着替え準備や外出時の衣装選びをご入居者様と一緒にやっている。また、2ヶ月に1回訪問理容にて散髪を行っている		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご入居者様一人ひとりに応じた方法で食事準備や片づけに参加して頂けるように努めている。また、要望を取り入れたメニュー作りにも努めている	トレッドミル等の使用による運動は利用者の食欲増進にも繋がられている。利用者のできることで食事の準備や片づけに参加してもらい、自立を意識した食卓となるよう取り組んでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	体調不良による食欲低下が見られる時は朝食を用意したり、体重増加傾向の方にはご飯計量やカロリーオフの砂糖を使用するなど、柔軟に対応することで健康管理に努めている。水分摂取量も記録に落とし把握するように努めている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを実施。口腔内トラブルが確認された場合は適時訪問歯科クリニックへ連絡を入れ、速やかに対応するように努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	ご入居者様の排泄間隔を職員が把握し、個々に応じたトイレ誘導を実施するように努めている	利用者の訴えを逃さぬよう見守りに努めており、トイレでの排せつを支援している。日中と夜間帯で装具を変更するなど利用者ごとに適切な支援に取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝のフレッシュジュース、15時のプルーンジュース(またはバナナジュース)の提供を毎日行っており、自然な便通を促す工夫をしている		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴曜日は決まっているが、順番などはその都度みなさんの希望をお聞きして決めるように努めている。また、体調が悪い・気分がのらないなど入浴を拒否された場合は翌日に延期するなど柔軟な対応に努めている	入浴のスケジュールは決まっているものの、柔軟な対応にあたっている。併設施設の設備を使用するなど効率的な対応を図っており、余裕ある日程となるよう取り組んでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中でもご希望があれば居室で臥床対応をとるようにしている。居室内の室温や湿度にも配慮し、快適な睡眠をとって頂けるように努めている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬一覧の掲示、処方薬内容変更の場合の周知の徹底などにより、職員個々がご入居者様の服薬に対する意識向上に努めている。また、症状変化が見られる場合は看護師に速やかに報告するように努めている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日頃の会話の中でご入居者様の以前の生活のこと、嗜好や得意なことなどを聞き出し、それらを考慮して家事をお願いしたり、レクリエーションを行ったりするように努めている		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個々の外出の要望にはご家族の協力を頂きながら、出来るだけ要望に沿えるように努めている。また、年末年始の一時帰宅や外泊、昼食会など気軽に外出できるように支援している	ホームの庭等での日光浴など日常的に戸外に出られるよう支援にあたっている。家族の協力を得て個別の外出をするなど利用者の楽しみが増えるよう努めている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご入居者さまの要望に応じて職員が買い物の代行を行っている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族からの電話をおつなぎしたり、ご入居者様から要望があった場合は電話をお貸しするなどしています		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアの室温や湿度に配慮している。また、共用空間の清掃をこまめに行い、気持ちよく過ごして頂けるよう努めている。季節の花や装飾を飾ることで季節を感じて頂けるように努めている	利用者の関係性に配慮した席が設定されており、都度検討しながら進めている。動線の確保、清潔と衛生が維持された共有空間は利用者の過ごしやすさに配慮されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	朝の体操や食事の時間以外はお好きな場所で過ごして頂くようにしており、職員は見守る形で支援している		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具や備品を居室に置いて頂くことで、居心地の良い空間になるよう支援している。また、定期的に職員がご入居者様と一緒に居室の清掃・片づけを行うようにしている	自由に過ごすことができる居室が準備されているが、日中は理由をつけてリビングに誘い、皆で楽しめるよう努めている。居室は利用者の嗜好が反映され、思い思いのレイアウトとなっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	下足箱の置き場所をご利用者様の身体状況に合わせた配置を考慮している		

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	入居者様と地域とのふれあいが、特定の人に 限られており、たくさん人との交流を増やしたい	・ボランティア等、施設来訪の機会を積極的に受け入れられる様にする	運営推進委員会や地域住民の方々への協力呼びかけの実施	3ヶ月
2	4	運営推進委員会の実施回数がH29年度は3回 のみの実施となる	計画通りに実施する	介護職員の人員の確保に強化を行う。 未経験者の採用を実施し、育成に努める	6ヶ月
3	35	避難訓練が計画通りに実施されていない	計画通りに実施する	消防担当係りを1名→2名に増やし、役割を分担し実施する	3ヶ月
4	34	急変時や事故発生時に備え、マニュアルをよりわかりやすく整理する	経験年数の浅い職員でもわかりやすく、安全に誘導が実施できるようにする	マニュアルの内容見直し及び、掲示2か所の他にフロアにもマニュアルを置き、緊急時に備える	1ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。